

立川市総合リサイクルセンターだより

西砂からの風



2025年 春号(第57号) お問合せ: ごみ対策課042-531-5517

酒井市長のプラスチック収集体験

昨年の段ボール・燃やせるごみに続き、第3弾としてプラスチックの収集体験を行いました。

AM8:00

収集スタート!

収集もれがないか、プラスチック以外のものが混入していないか、よく確認して作業します



今年1月から開始したプラスチックごみの一括収集について、「便利になった」とのお声を頂きました！



みなさまへのお願い



酒井 大史 市長

- ① 資源とごみは朝8時までに出してください。
- ② プラスチックはよく洗ってください。
納豆のパック等は水ですすいでください。汚れているとカラス被害につながります。
- ③ 洗濯ばさみは燃やせないごみで出してください。
金具を燃やせないごみ、金具以外をプラスチックで出すこともできます。
- ④ 紙ごみの混入にご注意ください。
カップラーメンの容器は紙製(燃やせるごみ)の場合があります。

ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

市長の収集体験の様子はYouTube「立川市動画チャンネル」で公開中です！

タイトル: 【現場へGo! 市長2年生】ごみ収集体験～プラスチックの巻～

右の二次元コードを読み取って見ることもできます。※通信料は利用者様のご負担となります。



燃やせないごみの排出状況の実態を調査しました

令和7年1月より、小型充電式電池を取り外すことができない「小型電子機器・小型家電」は、**有害ごみ**に分類されています(変更前:燃やせないごみ)。

※「小型電子機器・小型家電」の主な例:スマートフォン、電子タバコ、ワイヤレスイヤホンなど
※以前より粗大ごみで収集している品目(掃除機など)は、変わらず粗大ごみです。



回収したすべての燃やせないごみを1袋ずつ開け、中身を確認し、素材ごとに分別します。

アルミ

フライパン
やかんなど



鉄

はさみ
鍋など



小型家電

ラジオ
炊飯器など



コード類

充電ケーブル
充電器など



袋を開け分別している様子

燃やせないごみに混入していたもの



携帯型ゲーム機※
電気シェーバー、スマートフォン



乾電池・モバイルバッテリー



掃除機

有害ごみ

粗大ごみ

※携帯型ゲーム機等について小型充電式電池を取り外せた場合、電池は有害ごみ、本体は燃やせないごみとなります。

有害ごみで出されたものから一つひとつ電池を取り除きます。他のごみで排出された場合、発火し、火災につながる恐れがあります。工場で大規模な火災が起り、ごみの収集ができなくなった自治体もあります。必ず有害ごみで出してください。

膨張したモバイルバッテリーも有害ごみで出すことができます。

電動自転車のバッテリー▶
電動自転車のバッテリーには強力な電池がいくつも使用されています。

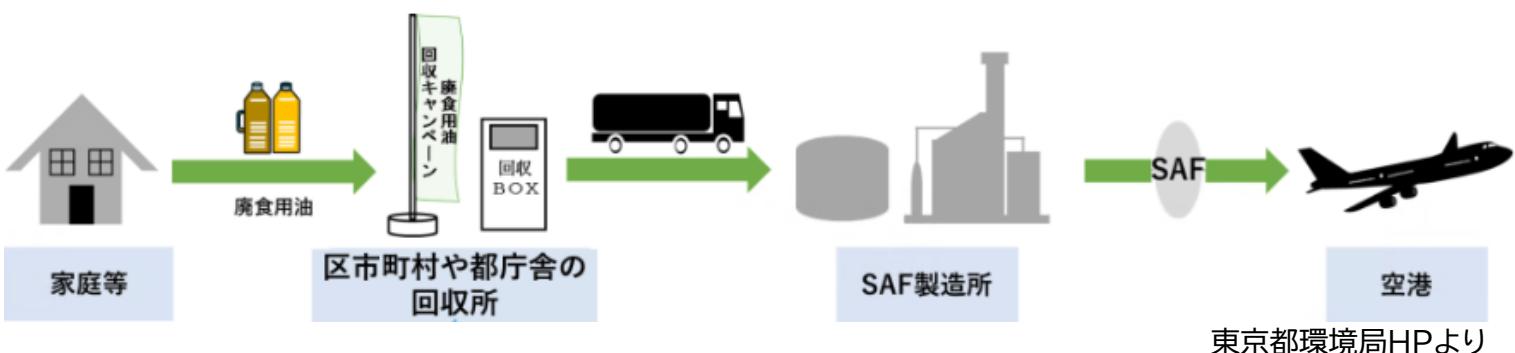


分解して小型充電式電池を取り外している様子▲
作業中にも煙が出ることがあります。

廃食用油の回収ボックスを設置しています

東京2025世界陸上を契機とした取り組みであり、使用済みの油を家庭から回収するキャンペーンです。

集められた油は、国内初のSAFの大規模製造所で、持続可能な航空燃料SAFに精製され、国内の空港に運ばれ、航空機の燃料として使用されます。



設置期間 令和7年6月3日(火)～令和7年10月31日(金)

設置場所	開館時間
市役所本庁舎 1階ロビー	月曜日～金曜日 8時30分～17時00分
総合リサイクルセンター 1階リサイクルショップ入口	火曜日～日曜日 10時00分～16時00分
クリーンセンター(たちむにい) 管理棟1階エントランス	月曜日～日曜日 9時00分～17時00分 毎月第1月曜日は閉館(祝日と重なるときは翌平日)

※ 回収ボックス設置場所の開館時間です。業務時間や受付時間等とは異なる場合があります。

油の出し方

- 油を十分冷ましてください。
- ふたのついた容器(油の入っていた容器やペットボトル)に入れ、
しっかりとふたを閉めてください。
- 回収場所へお持ち込みください。



これが目印です

回収ボックス
市役所本庁舎1階ロビー



回収できる油

- 家庭から排出されるもの
 - 植物性のサラダ油や天ぷら油
 - ・菜種油 ・大豆油 ・ごま油 ・コーン油
 - ・ひまわり油 ・オリーブ油 など
- ※ 賞味期限切れ、未使用的油も回収します

- × 事業活動から排出されるもの
- × ラードなどの動物系油
- × 灯油、エンジンオイルなどの鉱物系油
- × 固められた油、食品が入った油 など

資源とごみの出前講座を行いました

ごみ対策課職員がお住いの地域・団体等に伺い、資源とごみの出し方等についてお話をさせていただきました。

若葉会館



小地域ケア会議に参加させていただき、若葉町・栄町内の地域住民及び福祉団体等の関係機関のみなさまに、ごみ出しについて出前講義を行いました。

そのほか、各地域において、幅広い機関の方々による高齢者のみなさまへの包括的なサポート体制があることを伺い、支援活動を展開される中で生じた疑問等についての意見交換も行いました。



立川市立第六小学校

市立第六小学校 4年生に資源とごみの出し方について授業をしました。

また、児童のみなさまには、立川市内でごみの収集運搬を行っている高杉商事株式会社様のご協力のもと、実際にごみ収集車へのペットボトルの投入体験をしたほか、収集作業員からの声を聞いていただきました。



小学生から高杉商事(株)様へ寄せられた質問を一部紹介します！



Q 仕事をしていてうれしいことは？

A 収集作業中に直接市民の方から「いつもありがとうございます」とお声掛けいただくことや、街がきれいになっていく瞬間を見たときです。

Q 収集車1台がいっぱいになるのにどれくらいかかる？

A 収集品目によって変わるので一概に言えませんが、燃やせるごみでいうと1時間程度でいっぱいになります。
大きな集合住宅が多いエリアではさらに短い時間でいっぱいになります。